

(有) 静岡健康企画 ことぶき薬局 TEL055(977)6024 たまち薬局 TEL054(251)1678
ひまわり薬局 TEL053(463)4312 みかん薬局 TEL053(584)2230 いちご薬局 TEL055(946)6430

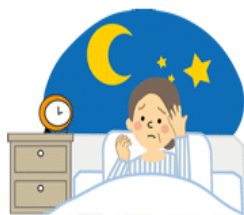
認知症ってどんな病気？

脳は、私たちのほとんどあらゆる活動をコントロールしている司令塔です。それがうまく働かなければ、精神活動も身体活動もスムーズに運ばなくなります。認知症とは、色々な原因で脳の働きが悪くなったために様々な障害が起こる症状のことです。

例えば、生活する中でごはんを食べたことを覚えていない、自分のいる場所がどこなのかわからない。ふつうの人なら当たり前になっていることがわからなくなる。つまり認識したり、記憶したり、判断したりする力が障害を受け、社会生活に支障をきたす状態のことを認知症と言います。

認知症の症状で、その人の性格や素質、環境など周囲の人との関わりのなかで起きてくる症状を「周辺症状」といいます。周辺症状で見られる症状を図で示しました。

周辺症状



不眠・妄想

物が盗まれたと言う
昼夜が逆転する



暴力・暴言

大きな声をあげる
手をあげようとする



幻覚

見えないものが見える
いない人の声が聞こえる



介護の拒否

入浴や着替えをいやがる



不安

イライラしやすい
落ち着かない



抑うつ状態

意欲の低下
興味・関心の低下



異食

食べられないものを
食べようとする



徘徊

無意識に歩き回る
外に出ようとする

周辺症状に使用される治療薬

興奮、暴力、暴言などの精神症状には、リスパリドン、オランザピン、アリピプラゾールなどが使用されます。うつ症状では、フルボキサミン、パロキセチンなど。寝つきをよくする薬では、ゾルピデム、ゾピクロンなどが使用されます。副作用として歩行障害、えん下障害、無表情、ふるえ、起立性低血圧、過鎮静などがみられ、また転倒・骨折の危険性を高めます。これらの薬は、特に高齢者の方に注意が必要となります。

神経の興奮状態(イライラや不安など)には、これらの薬の他に比較的副作用の少ない「抑肝散」という漢方薬があります。

今回は、漢方薬の抑肝散を取り上げ

てお話ししたいと思います。

漢方薬って？

まず簡単に漢方薬について話します。漢方薬は、通常二つ以上の天然の生薬(しょうやく)を組み合わせて配合された、いわば『複合薬』なのでその処方の中には多くの成分が含まれます。そのため一つの処方で色々な症状に対応出来ます。違う症状を訴えていても同じ漢方薬を使用することがあります。この考え方を異病同治といいます。反対に同じ症状であっても違う漢方薬を使用することもあり、これを同病異治といいます。患者さんの体質に合わせて漢方薬を決めるのです。よって抑肝散を服用していても認知症でない方もいらっしゃいます。

抑肝散について

構成生薬



サイコ



鎮痛、抗炎症

チョウトウコウ



鎮静、鎮痛

カンソウ



去たん、鎮痛

センキュウ



補血、強壯

トウキ



貧血、鎮静

フクリョウ



利尿、鎮静

ソウジョウツ



利尿、健胃

「肝」の高ぶりを抑えて興奮、イライラ、筋肉の緊張などを鎮める漢方薬

・使用目標

体力がやや衰えた人で興奮しやすく、イライラ、怒りやすい、不眠など精神症状を訴える諸症状に用いられます。まぶたや顔のけいれん、手足の震えなどを伴う症状に用います。また、落ち着きがない、ひきつけ、夜泣きなどのある子供にも良いでしょう。

認知症に対する効果と副作用の注意

周辺症状では、神経細胞が異常に興奮していると考えられています。抑肝散は、その興奮を和らげる効果があります。

抑肝散の使用では、低カリウム血症などの副作用があるので高齢者の方や他の薬を併用している方は、定期的に(少なくとも半年に1回)血液検査を行い、血清カリウム値を調べましょう。

なお「抑肝散」のほかにも「釣藤散」「抑肝散加陳皮半夏」など多くの漢方薬が、周辺症状の緩和に用いられます。認知症の人すべてが同じ薬を飲むわけではなく、それぞれの体質によって薬の種類が異なるというのも漢方薬の特徴です。医師や薬剤師と相談しながらベストな処方を見つけましょう。

